

配布用

StreamAuthor 4

製品概要資料

2011/08/08

CyberLink

製品の概要.....	3
StreamAuthor とは？.....	3
コンテンツ作成を外注に出した場合との比較.....	4
他社製品と比較した場合.....	4
StreamAuthor の特徴.....	5
StreamAuthor の機能紹介.....	6
フルスクリーンモード(簡単収録モード)の画面.....	6
リアルタイムでの講義収録.....	6
簡単収録モード [NEW].....	8
タイムラインモードの画面.....	9
タイムラインモードでの編集機能.....	9
表現力豊かで理解を促すためのコンテンツ.....	10
コンテンツ保護(セキュリティ).....	12
動作環境	13
オーサリング環境.....	13
再生環境(Windows + Internet Explorer).....	13
コンテンツの配信環境.....	14
サポートファイル形式.....	14
動作検証済み LMS.....	15
価格表	16
ご注意.....	16
その他.....	16
資料	17
よくある質問とその答え.....	17

製品の概要

StreamAuthor とは？

StreamAuthor は、動画の再生に同期して、PowerPoint などの各種書類が自動的に切り替わる Web コンテンツを作成するためのソフトウェア（オーサリングツール）です。



StreamAuthor の第一の特徴は、リアルタイムに記録できることです。¹

講義やプレゼンテーションをリアルタイムに録画しながら、同時に PowerPoint などの資料の切り替わりのタイミングを記録していきます。講義やプレゼンテーションが終わった時、保存するだけでコンテンツが完成します。

第二の特徴は、非常に高機能な編集機能を有していることです。

動画の編集はもちろん、同期タイミングの修正・PowerPoint の間違いまで **StreamAuthor** 上で行なうことができます。また、リアルタイムの収録だけでなく、タイムライン上で既存の動画ファイルとの同期も可能です。

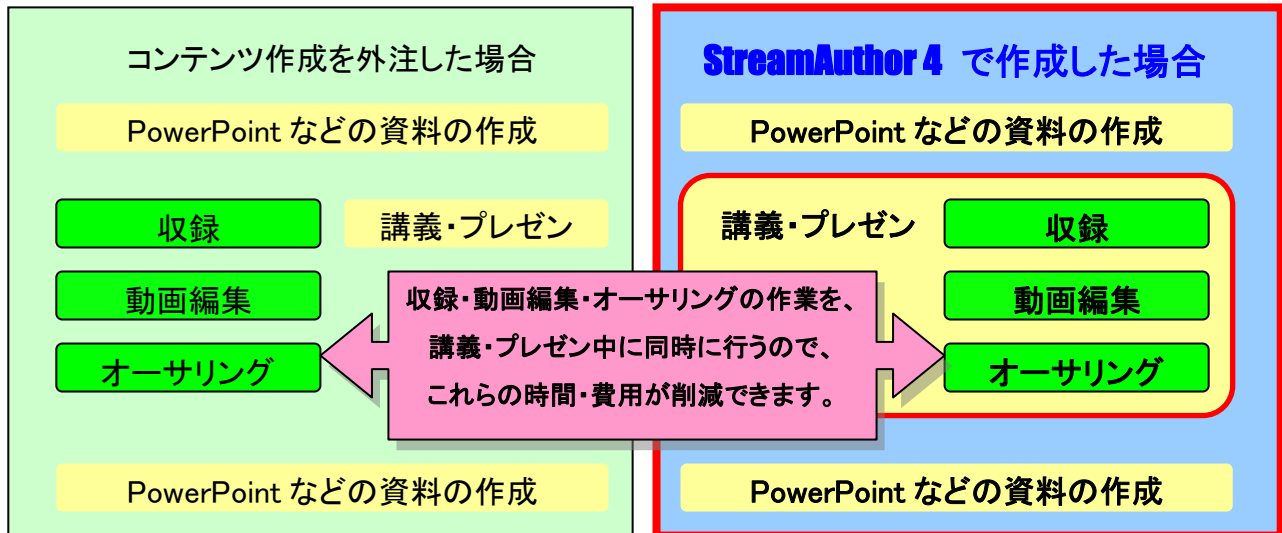
第三の特徴は、運用コスト削減です。

コンテンツの再生に専用のアプリケーションやプラグインが必要となると、その運用管理には莫大なコストがかかります。**StreamAuthor** で作成されたコンテンツは、Internet Explorer と Windows Media Player の入っている Windows パソコンだけで再生が可能です。また、コンテンツの配信も一般的な Web サーバーとストリーミングサーバー (Windows Media Service) だけで配信可能です。

¹ **StreamAuthor** には、講義やプレゼンテーションをリアルタイムにネットワーク配信する機能はありません。

コンテンツ作成を外注に出した場合との比較

動画と資料が同期したコンテンツは、インターネット上でいくつか見かけることができますが、これらのコンテンツをゼロから外注に出すと製作日数や費用がかかります。この原因は、動画の収録・編集・オーサリング(資料の HTML 化や動画と同期するためのプログラムの作成など)に時間と費用がかかるためです。また、内容に変更などがあつた場合さらに時間や費用が発生することになります。



他社製品と比較した場合

他社のオーサリングツールと比較した場合、**StreamAuthor** は高機能でありながら、優れた操作性、そして圧倒的な低価格を実現しています。

オーサリングツールで重要なポイントは以下の5つの項目です。**StreamAuthor** はこれらの点で他の製品と比較した場合、非常に優れています。

表現力	学習効果が高いコンテンツの作成ができる。 制作者の意図する表現ができる。
操作性	収録していることを特に意識せず、簡単操作で作成ができる。
高機能	話し手の表現を全て記録できる。 編集・修正が容易にできる。
汎用性	各種 LMS との高い親和性を持つ。 特殊な動作環境が不要。
コスト	低価格 (製品価格、導入費用、運用コスト、メンテナンス費用 etc ...)

ただの講義収録ではなく「理解させるためのコンテンツ作成ツール」を

StreamAuthor 4 は、学習者が本当に理解をしながら学習を行っているか、また自分の理解度を客観的に捉えることができるか、適度に緊張感を持って学習することができるかなど、様々な機能を使って実現しています。これによって、ただ講義を記録・収録するだけのコンテンツから、理解させるための学習教材を作成することができます。

該当機能: (コンテンツの)ポーズ機能、テスト機能、閲覧条件、
同期移動、非同期移動、テンプレートの変更 **字幕**

誰にでも簡単に使える操作性

リアルタイムに講義やプレゼンテーションを記録する簡単収録モード・フルスクリーンモードは、基本的に PowerPoint と同じ操作です。今まで PowerPoint を使ったことのある方であれば、簡単に使い方を習得することができます。編集機能を中心としたタイムラインモードでも、弊社が一般ユーザー向けの製品で培ってきた使い易いユーザーインターフェースを採用しています。基本的に単一アプリケーション上で編集・修正などあらゆる操作ができるようになっていきます。

講師の様々な講義スタイルの収録が可能

講師の講義は PowerPoint のページをめくるだけでなく、様々な表現や説明方法を用います。よく使われるのが、PowerPoint のアニメーション効果です。**StreamAuthor** はアニメーション効果の記録が可能です。多くの先生方からご要望を頂いた、板書の記録についても、ブランクスライド機能とペン機能を用いて記録できるようになりました。これにデジタルホワイトボードやタブレットなどと組み合わせることによって、より使い易いシステムを構築することができます。また、アプリケーションやOSの操作手順を説明するための画面録画機能や、資料提示装置と連携するカメラの表示などの機能があります。

該当機能: アニメーションの記録、ペン機能、マウスカーソルの記録、ブランクスライド
各種スライド形式のサポート、画面録画、カメラの表示、収録の一時停止/やりなおし

セキュリティ

特に企業での利用においては、コンテンツのセキュリティが重要視されています。特に、コンテンツが外部流出してしまった場合やコンテンツの二次利用などに対するセキュリティを強化しています。

コストパフォーマンス

基本的に、**StreamAuthor** で作成したコンテンツは Windows Media Player と Internet Explorer だけで再生可能であり、汎用的なサーバクライアントで再生することができます。専用の再生ソフトやプラグインなどは必要ありません。よって、製品本体の価格が安だけでなく、導入費用や運用コスト、メンテナンス費用を節約することができます。

フルスクリーンモード(簡単収録モード)の画面



フルスクリーンモード(簡単収録モード)では、PowerPoint スライドをプロジェクタなどで投影し、講義やプレゼンテーションを行うモードです。

PowerPoint 上をクリックしたりキーボードで操作することで、スライドを切り替えていきます。

画面下方および右側に各種機能のボタンが配置されています。

リアルタイムでの講義収録

フルスクリーンモードは、PowerPoint を主体としたプレゼンテーションや講義をリアルタイムに記録します。基本的な使い方は、PowerPoint と同じですので、今まで PowerPoint をご利用いただいた経験があれば、誰でもすぐに使うことができます。

なお、簡単収録モードはフルスクリーンモードの簡易機能ですので、ここで説明します。

複数ファイル・フォーマットのサポート

PowerPoint ファイルを一つだけでなく複数読み込めるようになりました。また、PowerPoint 以外のファイルも利用可能になりました。(簡単収録モードは、PowerPoint ファイル一つのものに制限されています。)

アニメーション効果の記録²³

PowerPoint スライドに設定されたアニメーション効果も話し手が操作したタイミングで記録・再生されます。

² アニメーション効果の種類や表現方法によって、PowerPoint での表現と異なる場合があります。

³ タイムラインモードでも記録可能

ペン機能⁴・マウスカースルの記録⁵

スライド上に、マウスを使って書き込みを行うことができます。または、マウスカースルをポインタの代わりに、その動きを記録することもできます。

ペン機能では、自由曲線・直線・四角形・円形を記述することができます。ペン機能では、その色・太きを選択することができます。書き込みを半透明にすることもできます。もちろん、文字の入力も可能です。

スタンプ機能では任意の画像をスタンプのようにスライド上に捺することができます。

消しゴム機能は書き込みの一部ではなく、画面上すべての書き込みが消去されます。

ポーズ機能

極秘事項などでその場で話すことはできても記録することができないような内容であれば収録を一時停止してその内容を記録しないようにする事が可能です。

ブランクスライド

真っ白なスライドを挿入してペン機能と併せて利用することによって、板書(黒板やホワイトボード)の講義スタイルも記録することができます。

画面録画機能

プレゼンテーションや講義の最中に Windows アプリケーションのデモや操作を見せる場合でも、スクリーン全体を動画としてキャプチャすることが可能になりました。また、画面録画中にもペン機能の利用が可能になりました。デモ終了後には、PowerPoint スライドに戻って、プレゼンテーション・講義を継続することができます。

画面録画機能でもペン機能を利用できます。⁶

簡単収録モードでは画面録画機能は利用できません。

カメラ映像のみの表示

スクリーン上にスライドではなく、カメラの映像を表示することが可能です。実験や模型を使った実習、書画カメラなどの映像を表示することができます。

講師の撮影用と書画カメラなど、複数のカメラを接続した場合、**StreamAuthor** 上で切り替えることも可能ですが、手順や PC の設定が複雑なので物理的なカメラ入力の切り替え器(マトリックススイッチャー)などをご用意いただくことを推奨します。

簡単収録モードではカメラ映像のみの表示機能は利用できません。

やりなおし機能 [NEW]

収録中に話す内容に間違いがあってやり直す場合、簡単にコンテンツを収録しなおすことができます。

操作としては、収録を一時停止し、再録画ボタンをクリックすると今表示しているスライドの開始位置に戻ります。再度録画ボタンをクリックすることで、そのスライドの説明からやり直すことができます。そのとき、スライドに該当する映像はすべて上書きされます。やり直し機能でやり直すことができるのは今表示されているスライドだけです。それ以前のスライド上で間違いに気づいた場合には、収録をすべて終了してから該当する部分をタイムラインモードなどで再編集してください。

⁴ ペン機能が利用できるのは、PowerPoint スライド、Word、Excel、各静止画、ブランクスライド上のみです。また、Word、Excel 上では正常に再生できない場合があります。

⁵ タイムラインモードでも記録可能

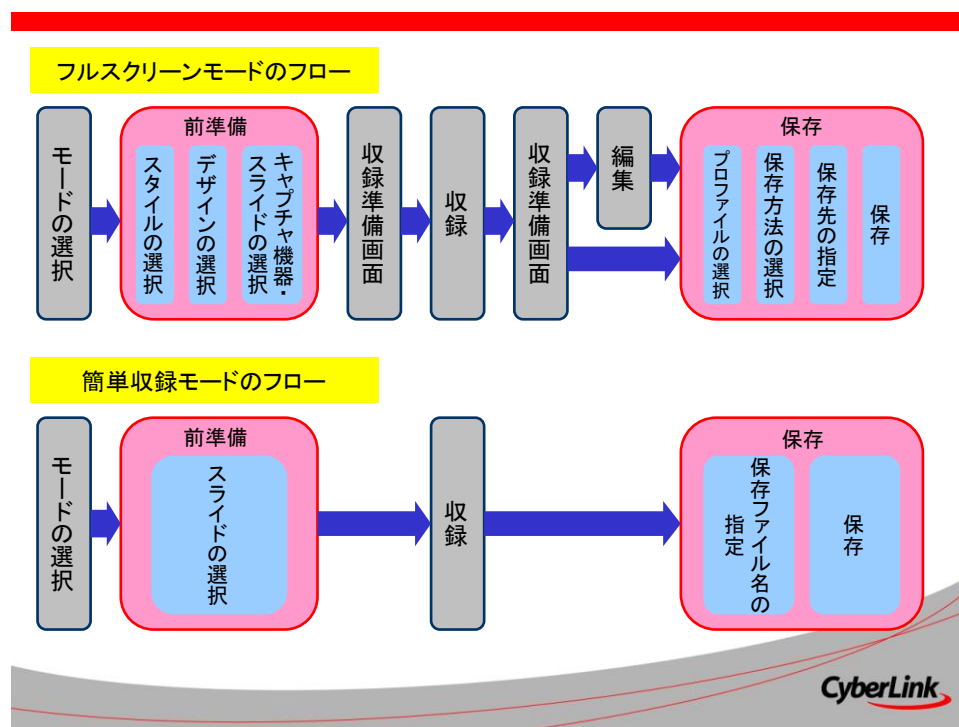
⁶ スライド上のペン機能とは表現が異なる場合があります。また、テキストの入力はできません。

簡単収録モード [NEW]

多くの初心者の方々に、フルスクリーンモードでも操作が難しいというご意見をいただきました。

StreamAuthor 4 からは、フルスクリーンモードを簡単に利用できるように簡単収録モードを搭載しました。

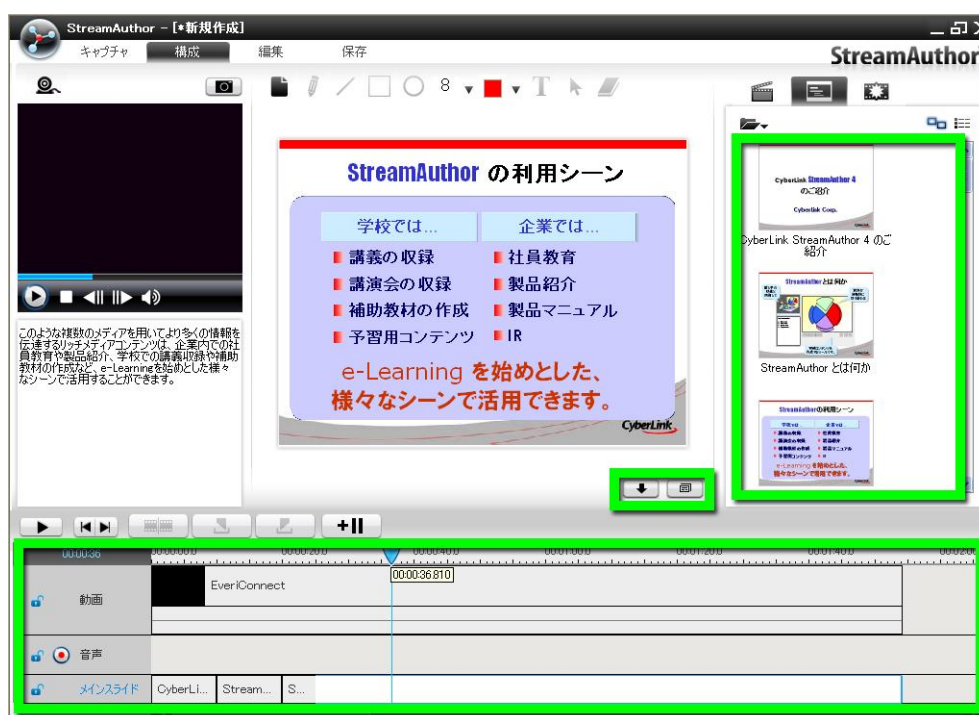
簡単収録モードは、フルスクリーンモードの前準備処理と保存処理の手順を簡略化しています。



簡単収録モードの制限など

- スタイルは CSS のみで、そのデザインはあらかじめ指定したものになります。
- キャプチャデバイスはあらかじめ指定しておいたものになります。簡単収録モード起動時に、指定されたキャプチャデバイスが利用不可の場合は、設定ダイアログが開きます。
- 映像のプロファイルはあらかじめ指定したものになります。
- 使用できるスライドは、PowerPoint ファイル1つのみに限定されます。
- 画面録画機能・カメラからの映像の表示機能は利用できません。
- コンテンツの(再)編集は行えません。
- コンテンツの保存は ZIP 形式・EXE 形式のどちらか(もしくは両方)となります。展開フォルダ形式での保存やサーバーへのアップロードはできません。
- プロジェクトファイルを保存することはできません。
- 収録したコンテンツを編集する必要がある場合は、保存したコンテンツを「コンテンツを開く」からコンテンツを開き、タイムラインモードで編集を行います。

タイムラインモードの画面



タイムラインモードとは、動画編集ソフトのようにタイムラインに素材を並べて、コンテンツ作成するモードです。

タイムラインモードでの編集機能

タイムラインモードでは、2種類のコンテンツの作成方法があります。

1. 素材をタイムライン上に配置する方法

あらかじめ用意しておいた素材(動画やスライド・資料など)を、タイムライン上にドラッグアンドドロップで配置していきます。

2. 動画の録画・再生に合わせて同期を取る方法

動画を録画もしくは再生した状態にしておいて、スライドを切り替えるタイミングで同期ボタン⁷をクリックして配置します。

タイムラインでは、スライドの切り替わりのタイミングや、アニメーション効果の再生タイミングの修正などを行うことも簡単に行うことができます。

先のフルスクリーンモードで収録したコンテンツを、タイムラインモードに変換して編集することも可能です。

高度な編集機能

動画の不要部分を削除したり、動画を分割して他の映像を差し挟むなどの動画編集が可能です。また、動画と動画の間に、映像を切り替わったことをわかりやすくするための特殊効果(トランジション効果)機能も搭載しています。

⁷ 通常は、「次スライドを同期ボタン」をクリックします。

キャプチャ機能

あらかじめ動画・音声素材を作成（録画・録音）し、スライドとの同期を行うことができます。

アフレコ(アフターレコーディング)機能

音声に間違いがあった場合でも、その場の音声を簡単に修正することができる機能です。

映像を見ながら、再度マイクを使って録音することによって音声を変更することができます。アフレコ機能で収録した音声は、元の音声と置き換えることもできますし、下の音声とミックスダウンすることも可能です。

音量の調整機能

タイムライン上で、音量の一部分を大きくしたり小さくしたりすることができます。

表現力豊かで理解を促すためのコンテンツ

e-Learning 用のコンテンツの特徴は、学習者が自分のペースにあわせて学習を行うことができます。そのため、e-Learning 用コンテンツには、学習者による一時停止など、ある程度の自由を与える必要があります。それと同時に、適時学習の進捗を学習者に認識させることによって、効果的な学習結果を生み出すことができます。

同期移動

目次をクリックすることによって、スライドと動画を移動することができます。この機能によって、内容を繰り返し学習することができます。

同期移動は、目次のタイトルをクリックするか、動画再生の早送り・巻き戻しバーを操作することによって操作することができます。

また、動画の進行とは独立してスライドを自由に切り替えることもできますので、確認作業も簡単です。

表示内容の入れ替え

動画とスライドを入れ替え、たとえば動画は大きく、スライドは小さく表示することができます。動画だけ、スライドだけの表示も可能です。

テンプレートの変更

コンテンツの途中で、スライドだけ、動画だけなどのコンテンツ全体のデザインを変更することが出来ます。

StreamAuthor のコンテンツは、動画とスライドの 2 つの注目点があるため、焦点が定まらない場合があります。

講師の映像よりもスライドに注目してもらいたい場合や逆にスライドよりも講師の話に耳を傾けてほしい場合などに、映像だけ表示する・スライドだけ表示するなど、画面全体のデザインを途中で変更することが可能です。

テンプレートエディタ

CSS デザインテンプレートは、コンテンツの画面デザインをテンプレートエディタによって自由に作成できます。

ポーズ機能

コンテンツの途中で閲覧者の意思にかかわらず強制的に一時停止をかけることができます。この機能を使えば、離席気や居眠り対策を行うことができます。

テスト機能

コンテンツの途中にテストを入れ、テストに合格しないとコンテンツの続きを視聴できないような設定ができます。また、テストの作成を Word で作成できるようになり、文字だけでなく、表や図・数式などを問題や解答に扱うことができます。また、問題をランダムに並べ替える機能もありますので、丸暗記防止にも役立ちます。

テスト機能の得点によって、コンテンツの続きを閲覧できるかどうかを設定することができます。合格点に達しなかった場合には、テスト以前のコンテンツを繰り返し学習するか、再度受験する必要があります。また、任意の回数受験しても合格できなかった場合に、コンテンツの続きの再生を許可することもできます。

テストの結果は、メールでコンテンツ作成者に送信することができます。この通知は、得点が記載されているだけで、各問題に対する受講者の解答などは含まれません。またこの通知機能は、受講者の PC 上のメールソフトが、メールの送信が可能な状態に設定されている必要があります。⁸

各問題の正答と解説は、受験後に表示することもできます。

*本テスト機能は LMS と同期を取ることはできません。SCORM によるテスト結果の収集などはできません。

閲覧条件

まだ見ていないスライドへの移動を禁止することができます。

またコンテンツ終了後に、コンテンツをそのまま停止する・繰り返し再生を行う・特定の URL に移動するなどの設定もできます。

サブスライド

コンテンツ上に同時に 2 種類のスライド(資料)を表示することができます。

参考資料

コンテンツで使ったスライドや各種資料・URL などを、参考資料としてコンテンツに添付することができます。

字幕 [NEW]

コンテンツ上に字幕として任意のテキストを表示することができます。字幕は CSV 形式での出力・読み込みが可能です。

PDF ファイルの分割読み込み [NEW]

StreamAuthor 3.x では、複数ページを有する PDF ファイルを読み込んだ場合でも単一のスライドとして認識されたため、特定のページを開くことは不可能でした。

StreamAuthor 4 では、PDF ファイルの読み込み時に画像ファイルに変換し、ページ毎に分割することが可能です。これによって、複数ページに渡る PDF も各ページを 1 スライドとして扱うことができます。また変換した場合には、スライド上にペン機能で書き込みを行うことができます。

ノイズリダクション機能 [NEW]

PowerDirector などに搭載されている CLNR (CyberLink Noise Reduction) システムを搭載しました。これによって、

⁸ メールソフトが MAPI に対応している必要があります。MAPI 非対応のメールソフトや、Web メールでは送信できません。

映像・音声に含まれる雑音を除去することができます。

コンテンツサイズの固定 **[NEW]**

StreamAuthor 3.x では、ブラウザのサイズが変更されると、StreamAuthor コンテンツ中の各オブジェクトのサイズもブラウザのサイズに合わせて自動的にリサイズされました。StreamAuthor 4 では、ブラウザのサイズを変更してもコンテンツサイズを変更せず、テンプレートエディタで作成したサイズに固定することが可能です。

分割出力(チャプタ出力)

ひとつのコンテンツを任意の場所で分割して、複数の教材として保存することができます。長時間の講義などを分割して、短い複数のコンテンツとして運用することができます。また、分割して保存した場合、個々のチャプタを LO(SCO)⁹ として扱うことも、全体をひとつの LO として扱うこともできます。他の LO と組み合わせることによって、Multiple SCO コンテンツとして運用することが可能です。(SCORM エディタの機能は有していないため、Multiple SCO コンテンツとして編集するためには、別途 SCORM のエディタや LMS 上での登録などが必要になります。)

プロジェクトの結合 **[NEW]**

作業中のプロジェクトの前後に別のプロジェクトを読み込んで結合させることが可能です。

コンテンツ保護(セキュリティ)

ウォーターマーク

動画にロゴマークなどを入れて、コンテンツの出所を明示することができます。

パスワードロック(EXE/ZIP 形式のみ)

再生するために、パスワードを入れなくてはならないように設定することができます。

一時ファイルの生成を廃止(EXE 形式)

StreamAuthor2J までは、EXE 形式で再生する場合には、一時ファイルを作成していましたが、一時ファイルを元にした二次利用が可能という問題点がありました。StreamAuthor3 以降では、一時ファイルを生成せずにコンテンツを再生することができるようになっていきますので、二次利用することが出来なくなっています。¹⁰

マテリアル(素材)コピーの禁止

スライド上のテキストや画像などをドラッグ&ドロップや右クリック、Ctrl+C Ctrl+V などのコピー&ペーストが禁止されています。(Print Screen キーなどによるスナップショットは禁止されていません)

有効期限の設定(EXE 形式)

コンテンツに有効期限を設定することができます。最初に再生してから何日間(ローカルドライブで再生した場合のみ)、yyyy/mm/dd～yyyy/mm/dd までの期限などの形で設定できます。

⁹ LO(Learning Object), SCO(Sharable Content Object)は e-Learning 教材の個々の単位を意味します。

¹⁰ 再生環境は Windows XP SP2 の場合は、EXE 形式は正常に動作しない場合があります。

動作環境

オーサリング環境

OS: Windows 2000 Pro / Windows XP / Windows Vista / Windows 7¹¹

CPU: Intel Pentium 4 以上¹² (Celeron の場合は 2GHz 以上)

RAM: 512MB 以上

HDD: インストールに必要な領域として60MB

- Office など必須アプリケーションの領域は別途必要
- 作業領域は別途必要

キャプチャデバイス¹³: IEEE1394+DV カメラ¹⁴
WDM ドライバ準拠の USB カメラ

音声デバイス: PCI 接続のサウンドカード

必須アプリケーション: DirectX 9b 以上
Windows Media Player 9 以上

Microsoft Office: Office 2000 / XP(2002) / 2003 / 2007 / 2010
- Word/Excel/PowerPoint が含まれていること

その他アプリケーション:

Adobe Acrobat Reader (PDF を作成する場合は、別途 PDF 作成ツールが必要)

Macromedia Shockwave Flash プラグイン(SWF ファイルを作成する場合は、別途作成ツールが必要)

再生環境(Windows + Internet Explorer)

OS: Windows OS (98SE 以降)

Web ブラウザ: Internet Explorer 6.0 以降

Media Player: Windows Media Player 7.1 以降

その他:

- Office の一部機能を再生するために、PowerPoint2003 アドイン:Office アニメーションランタイムが必要になる場合があります。このランタイムは、Microsoft 社のページより無償でダウンロードしていただくことができます。PowerPoint(Office)が既にインストールされているクライアントの場合は、このランタイムをインストールする必要はありません。
- PDF を再生する場合は、Adobe Acrobat Reader が必要
- SWF を再生する場合は、Macromedia Shockwave Flash プラグインが必要
- PowerPoint 上でのスライドの表示やアニメーション効果などの表現の完全な再現は保証していません。
- テスト機能の結果の送信には、MAPI 機能を有するメールソフトがメール送信可能な状態にあらかじめ設定されている必要があります。

¹¹ Windows 95/95OSR2/98/98SE/Me では動作いたしません。また、Windows NT/ 2000Server / 2003 Server などのサーバ系 OS 上では正常動作いたしません。

¹² デュアル CPU 環境には対応いたしません。ご利用の機能・環境・操作によってはより高性能な動作環境が必要となる場合があります。

¹³ すべてのキャプチャカードで動作を保証するものではありません。

¹⁴ USB で PC と DV カメラを接続する USB ストリーミングには対応していません。HDD ビデオカメラ・DVD ビデオカメラには対応していません。

コンテンツの配信環境

Web サーバ: Apache / IIS など
ストリーミングサーバ: Windows Media Service / Real Helix Server

注意

コンテンツの配信に Web サーバのみで配信することも可能ですが、以下の制限があります。

- マルチビットレートの動画を最適なビットレートで配信することはできません。
- 目次のクリックなどによるコンテンツの移動は、動画・音声のダウンロードが完了するまで使用できません。

Windows Media Service に必要なスペックなどにつきましては、Microsoft 様にお問い合わせください。なお、技術的な指針は以下のサイトにて提供されております。

<http://www.microsoft.com/japan/msdn/windowsmedia/techart/Wmcompatibility.asp#Wmcompatibility17>

サポートファイル形式

入カファイル形式

スライドとして ¹⁵		PowerPoint(ppt), Word(doc), Excel(xls) 静止画(GIF, JPEG, BMP, PNG), Text HTML ¹⁶ , URL ¹⁷ , Macromedia Flash ¹⁸ (swf), Adobe Acrobat (PDF)
	動画	AVI, MPEG-1, MPEG-2, WMV, DVD(VOB, VRO)
動画・音声として	静止画	GIF, JPEG, BMP, PNG
	音声	WAV, WMA, AU

DVD-Video の読み込み [NEW]

市販の DVD タイトルの多くはコピープロテクションがかけられており、これらの映像を取り込むことはできません。またコピープロテクションのかかっていない DVD タイトルやテレビ番組・他人が撮影した私的な映像であっても、無断で利用することは著作権に抵触する場合があります。

DVD カメラ/HDD カメラの映像 [NEW]

DVD カメラ/HDD カメラの多くは、USB でパソコンと接続した場合、PC からは外付けの DVD ドライブもしくは HDD として認識され、カメラデバイスとしては認識されません。そのため、DVD カメラ/HDD カメラをフルスクリーンモード（簡単収録モード）用のカメラデバイスとして利用することはできません。あくまでもカメラで撮影した映像をタイムラインモードで利用できるものです。なお、各カメラがパソコンに接続されたときどのように認識されるのかはビデオカメラの取り扱い説明書を参照するか、各ビデオカメラメーカーにお問い合わせください。

HD(ハイディフィニション)映像の読み込み [NEW]

StreamAuthor 4 から HD 映像の読み込みに対応しました。ただし、コンテンツ出力時にはストリーミング用に映像は圧縮されるため、HD 映像で映像品質を保持したまま出力することはできません。

¹⁵ Office ドキュメントは、Office に実装されている Web コンポーネント(HTML 変換モジュール)を用いて、HTML 形式に変換されます。Web コンポーネントの仕様により元資料と出力されたスライドの表現が異なる場合があります。

¹⁶ HTML 中のリンクやフォーム、JavaScript/VBScript などによるインタラクティブな操作については記録できません。

¹⁷ サイト上のリンクやフォーム、JavaScript/VBScript などによるインタラクティブな操作については記録できません。

¹⁸ インタラクティブ性のあるフラッシュコンテンツの操作は記録できません。

出力ファイル形式

出力されるファイルは、動画部分は WMV(音声のみの場合は WMA)と HTML および Web ページを構成する各種ファイルで構成されます。出力フォーマットはこのファイル群を以下の形式で保存します。

1. 展開フォルダ(そのまま複数のファイル)で保存
2. ZIP 形式(ファイル群を圧縮して)で保存
3. EXE 形式(自動実行ファイル形式)で保存

保存方法は、「ローカルドライブに保存」「FTP 経由でサーバにアップロード」「NetBIOS(Windows ファイル共有)でサーバにアップロード」ができます。保存時にはサーバなどの各種設定を、あらかじめ設定しておくことによって簡単にサーバにアップロードすることができます。

動画のプロファイル(解像度やビットレート)などは、カスタマイズすることが可能です。

MBR(マルチビットレート)形式に対応しており、単一の動画ファイルに複数のビットレートのストリームを共存させることができます。¹⁹また、ブロードバンド用・ナローバンド用など、複数のコンテンツとして保存する場合には、各ビットレートを選択して、複数回保存することによって作成することができます。

なお、簡単収録モードの場合は、ZIP 形式か EXE 形式のみの出力が可能です。

EXE 形式の制限について

Windows XP SP2 上では、Windows ファイアウォール機能で EXE 形式が正常に動作しない場合があります。そのため、Windows ファイアウォール機能を回避する EXE 形式を ver 3.5 から出力できるようにしています。ただし、この場合、一時ファイルの生成が行われ、マテリアルコピーが可能になってしまいます。

SCORM について

展開フォルダ形式・ZIP 形式は、自動的に SCORM 対応コンテンツとして保存することができます。SCORM は 1.2 に対応した形式になります。また選択によっては、SCORM2004 での登録も可能になります。(SCORM2004 のすべての機能が実装されているわけではありません)

動作検証済み LMS²⁰

動作検証済み LMS はサイバークまでお問い合わせください。

¹⁹ MBR の動画を配信するためには、ストリーミングサーバが必要になります。ストリーミングサーバはサーバ~クライアント間の帯域幅(回線速度)を自動的に認識して、適したビットレートのデータだけ MBR のメディアファイルから切り出して送信することができます。

²⁰ サイバークでは、各 LMS の導入支援やサポートなどはいたしておりません。

価格表

	一般・法人向け	学校・教育機関向け
1Lic	オープンプライス	オープンプライス
3Lic	オープンプライス	オープンプライス
5Lic	オープンプライス	オープンプライス
10Lic	オープンプライス	オープンプライス

なお、**StreamAuthor3/3.5** からのアップグレードも用意しています。

ご注意

- ライセンス(Lic)数は、**StreamAuthor4** インストールすることのできる PC の数です。
- クライアント(再生用)PC の数は、ライセンス数にかかわらず無制限です。
- **StreamAuthor 3/3.5** をお持ちの場合は、別途アップグレード価格を用意しております。詳細は各販売代理店までお問い合わせください。
- 出荷物には、ユーザ数に関わらず1枚のインストール用 CD-ROM と1枚の仕様許諾ライセンス証書が付属しています。マニュアル(ユーザズガイド・詳細マニュアル)は、PDF ファイルで提供しております。印刷物での提供はいたしておりません。
- 価格には、Microsoft Office および必要とする周辺機器などは含まれておりません。

その他

- 各種資料や映像などの著作権や肖像権の取り扱いについては、製品上で判断・制限することはできません。これらのお取り扱いに関してはユーザ様ご注意ください。
- 動作検証に関しては万全をつくしておりますが、全ての環境での動作を保証するものではありません。
- コンテンツの収録途中や保存時に、障害などによってコンテンツが失われても弊社はその責を負いかねます。
- Windows ®は米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標です。
- その他の記載されている会社名、商品名は各社の商標もしくは登録商標です。
- 本文中の URL などは、断りなく変更になる場合があります。

よくある質問とその答え

出来上がったコンテンツのファイル形式は？

WMV(WMA)フォーマットの動画(音声)と、HTML、HTML に付属する画像ファイルなどで構成されています。ZIP形式・EXE形式の場合でもこの組み合わせを圧縮したものになります。

StreamAuthor 独自のファイル形式や単一の動画ファイルで保存されるわけではありません。

出来上がったファイルサイズはどれくらいになりますか？

StreamAuthor で作成されたコンテンツは、動画ファイルと HTML ファイルなどで構成されます。そのうち、動画ファイルがそのコンテンツの容量の大半を占めることになります。動画ファイルのサイズは、そのビットレートから計算することが可能です。

$$\text{ファイルサイズ(MB)} = \text{動画のビットレート(kbps)} \times \text{動画の長さ(秒)} \div 8 \div 1024$$

この式から計算すると、128kbps のコンテンツ1分で約 1MB になります。

プロファイル(ビットレート)の選択基準は？

一般的にビットレートは高いものほど高画質になると言われています。ビットレートがある程度大きくなると画質よりも映像の動きがスムーズになります。しかし、高ビットレートの動画は、低スペックの PC では再生できない場合があります。再生する PC やネットワーク環境を考慮して適切なビットレートにて動画を作成することが望ましいです。

実際には、128kbps で十分話し手の表情がわかる画質です。また、384kbps 以上に設定した場合でも画質が劇的によくなるわけではありません。

目次は1枚1枚設定しなくてはなりませんか？

目次に表示されるタイトルは、PowerPoint の場合は各 PowerPoint スライドのタイトルから自動的に設定されます。スライドにタイトルが設定されていない場合は、「スライド8」のように仮のタイトルが付けられます。

Excel の場合は、ワークシート名が設定されます。それ以外のファイル形式の場合は、ファイル名が使われます。

なお、目次の文字列は後で自由に変更することができます。また目次を追加して(1つのスライドが長い場合などに)1枚のスライドを前半・後半に分割することや、目次を削除して複数のスライドを1つの目次にまとめることも可能です。

目次に表示される連番や経過時間を非表示にすることはできますか？

可能です。

LMS(LCMS)とは何ですか？

LMS(Learning Management System)は、訳のとおり「学習管理システム」のことで、通常は Web-base の学習進捗を管理するシステムです。LCMS と言った場合には、Learning Contents Management System の略ですが、LMS と LCMS との間には大きな違いはありません。

SCORM とは何ですか？

SCORM(Sharable Content Object Reference Model)は、LMS と学習コンテンツの相互利用を確保するための規格です。たとえば、A社の LMS を使っているが、B社のオーサリングツール(コンテンツ作成ツール)を使いたいという場合があります。しかし、B社のツールで作成したコンテンツがA社の LMS で活用できなければなりません。こういう場

合にコンテンツと LMS 間のやり取りを共通化した規格が SCORM になります。

SCORM には、大きく分けて、コンテンツアグリゲーションとランタイム環境の2つの規格で成り立っています。

コンテンツアグリゲーションは、そのコンテンツのタイトルや作者などよく取り扱われる定義が記載されます。通常は XML 形式のマニフェストファイルで定義されます。マニフェストファイルは、本来の学習コンテンツ(LO)が内包されるのではなく、別途ファイルとして定義され、そこから学習コンテンツにリンクします。

ランタイム環境は、コンテンツと LMS との間でデータをやり取りするための方法とデータ形式を定めたものです。LMS 側がランタイムに合わせたデータのやり取りの窓口を用意するだけで、そのデータを内部的にどのように取り扱うかは LMS の設計によります。

以上から、SCORM 形式と言っても何か特殊な形式があるわけではなく、学習コンテンツ+マニフェストファイル+ランタイム環境=SCORM 形式と言えます。逆にマニフェストファイルとランタイム環境を無視すれば単純な学習コンテンツとなります。また学習コンテンツは HTML コンテンツでなくても PowerPoint や Word ファイルでも構わないということになります。

出力されるコンテンツはシングル SCO ですか？マルチプル SCO ですか？

SCO(Sharable Content Object)は、学習用のコンテンツのことです。**StreamAuthor** で作成されたコンテンツや PowerPoint などの資料や各種ツールで作成したコンテンツも SCO となります。たとえば、「**StreamAuthor** で学習の概略を説明したあと、映像で実験の様子を見せ、Flash でシミュレーションしたあと、再度 **StreamAuthor** でまとめを説明し、テストを行う」など、場合によっては各種 SCO を組み合わせて複雑なコンテンツを作成することもあります。このような各パーツを SCO と言います。一つの SCO で構築された学習コースをシングル SCO といい、複数の SCO で構成された学習コースをマルチプル SCO と言います。

StreamAuthor コンテンツは、章(チャプタ)を設定した場合は各章をシングル SCO としたマルチプル SCO になります。章(チャプタ)を設定していない場合はシングル SCO として保存されます。

SCORM を編集する機能はありますか？

コンテンツのマニフェストファイルを編集する機能はありますが、マルチプル SCO の構築やシーケンシャルコントロールの編集と言った機能はありません。これらは LMS 上で編集を行うか、専用の SCO エディタを用いてください。

StreamAuthor のテスト機能は SCORM 経由でデータ(テスト結果など)のやり取りができますか？

以下の4項目が引き渡されます。

- cmi.core.score.raw
- cmi.core.score.min
- cmi.core.score.max
- cmi.core.lesson_status

画面録画機能で、Windows スクリーン上で再生している DVD や映像を収録できますか？

基本的にはできません。これは、画面録画機能も通常の動画 Windows 再生機能も DirectX を用いており、これがバッティングするためです。また DirectX を用いない再生ソフトが存在した場合には記録できるかもしれませんが、その場合にもコマ落ちするなど十分なクオリティでの録画は難しいです。

StreamAuthor は MPEG-4 をサポートしていますか？

StreamAuthor は一部の MPEG-4 に対応しています。MPEG-4/AVC(H.264)が MPEG-4 でも中心的な規格として認識されつつあります。H.264 の CODEC は AVI の CODEC として利用することも可能なので、AVI として利用した

場合には **StreamAuthor** でも読み込むことは可能です。(この場合 H.264 の CODEC があらかじめ PC にインストールされている必要があります。)出力時にはすべて Windows Media に変換されます。

DV カメラを接続するための IEEE1394(i-Link)のケーブルの最大長は？

IEEE1394 の規格では、最大長は 4.5m となっています。しかし、ロングケーブルを使えば 20m 以上の接続も可能です。ロングケーブルなどの具体的なお問い合わせはサイバーリンク社ではお受けいたしかねますので、IEEE1394 ロングケーブルを取り扱っているケーブルメーカー様にお問い合わせください。(Google で IEEE1394 ロングケーブルを検索するといくつも見つけることができます)

日本語版以外の StreamAuthor はありますか？

出荷される製品は、日本語のほか英語・中国語(繁体字・簡体字)・ドイツ語の計5言語が含まれています。インストール時に Windows OS の言語を判断して、該当する言語でインストールをするように確認します。この5言語以外の OS にインストールする際には英語版がインストールされます。OS の言語に関わらずインストールする言語を強制的に変更することも可能ですが、OS との組み合わせによってはユーザーインターフェース上の文字が正しく表示されないケースもあります。

なお、日本国内出荷分については、日本語版 OS に日本語で **StreamAuthor** をインストールした場合のみサポートさせていただきます。それ以外の言語はサポート対象外となります。

StreamAuthor は1台のパソコンにインストールして、複数のユーザで使うことは可能ですか？

StreamAuthor の1ライセンスは、「1台のパソコンにインストールして、**StreamAuthor** を利用する権利」です。したがって、1台のパソコンに **StreamAuthor** をインストールしユーザがログインしなおすなどによって複数のユーザで交互に利用することは問題ありません。ただし、ターミナルサービスなどを用いて、1つのサービス上でライセンス数を超えた複数のプロセスを起動することはライセンス違反になります。また、1ライセンスを複数のパソコンに同時にインストールし、交互に利用することもライセンス違反になります。

作成したコンテンツの配布はライセンス数に関係しますか？

作成したコンテンツは、購入した **StreamAuthor** のライセンス数に関わらず自由に配布していただいて構いません。

作成したコンテンツの著作権はどうなりますか？

基本的にはコンテンツ全体の著作権はコンテンツ作成者のものとなります。ただし、コンテンツを制御する様々なスクリプト部分に関してはサイバーリンク社の著作物となります。つまり、コンテンツ作成者の著作物にサイバーリンクの著作物を、再配布可能な条件で配布していることとなります。

コンテンツは何時間連続して収録できますか？

ハードディスクの残容量が十分にあると仮定すれば無制限に録画できます。実際には48時間以上連続録画が可能であることを動作確認しています。

製品を購入した場合のパッケージの内容物を教えてください。

- インストール CD-ROM (1枚)
- ライセンス証書 (1枚)
- パッケージ(箱) (1式)

以上の内容物はユーザ数に関わらずすべて1つずつとなります。

なお、マニュアルは印刷物としては同梱しておりません。PDF 形式の電子ファイルとして提供されます。

コンテンツの作成をサイバリンクに外注することはできますか？

弊社ではコンテンツ作成の受託は行っていません。

コンテンツにアクセス権や有効期限を設定することはできますか？

EXE, ZIP 形式の場合は、アクセス権は無理ですがパスワードによるロックをかけることが可能です。また有効期限を設定すること可能です。

展開フォルダ形式すなわち一般の HTML(=Web)コンテンツの場合、アクセス権や有効期限の設定をコンテンツに組み込むことはできません。HTML コンテンツに対しては、Web サーバ側のアクセス権や LMS による有効期限を利用するようにしてください。